

# 平成18年度 三芳町男女共同参画推進会議の活動状況

三芳町男女共同参画推進会議は、男女共同参画の推進を目的とした事業を行政と協働で取り組む団体で、公募により選ばれた8名で構成しています。

## 活動内容

「共に生きる女と男のセミナー」企画・運営  
 情報誌「まなざし」企画・編集  
 日本女性会議2006しものせき  
 全国男女共同参画宣言都市サミットほか  
 研修参加



## 平成18年度 共に生きる女と男のセミナー

<第1回目> 平成18年11月26日(日)  
 講演テーマ:「どうしますか?中高年からの二人暮らし」  
 講師:佐藤 達夫 氏(食生活ジャーナリスト)

<第2回目> 平成19年2月25日(日)  
 講演テーマ:「自分を生きるということ」  
 講師:吉永 みち子 氏(ノンフィクション作家)

## 「日本女性会議に参加して」

三芳町男女共同参画推進会議 委員 向吉孝子 鶴飼登美子

2006年10月6日～7日「We are ～ わからないから信じ合う。知らないから支え合う」をテーマに第23回日本女性会議が海峡都市下関で開催され、史上初の4,000人を超える女と男が集い、三芳町からは、私たち推進委員2名、職員1名が参加。男女共同参画の取組みをさまざまな視点から学ぶことができた。

講演の部では「男女共同参画の潮流」と題して、東洋大学経済学部教授 白石真澄さんの体験から、日々訴え続け、粘り強い行動が大切であること、そして、今では女性の活用に意識の高い企業ほど業績がアップしているという現状が報告された。基調プログラムでは、「異邦の地からの不信と衝突の果て」と題してジャーナリスト 山本美香さんから、世界の紛争地で生きる女性を現地取材した映像とメッセージ。日本で、タリバンやアフガンの実状が伝えられていないことへの驚き、戦争で父を失ったイラクの少年の憎しみ・復讐の言葉、静かな語り口から、強い怒り、平和への願いが伝わってきた。続く交流会は、海峡メッセ下関イベントホールで『平家太鼓』による開演とともに始まった。真心づくしの下関の幸を肴に、北海道から沖縄まで全国から集った参加者と笑顔の語り合いでネットワークが広がった。翌日は第8分科会「地域福祉づくり」に参加。「地域の」ではなく、「地域で」と強調して進めている取組みの事例に、まさに感動の連続だった。中でも『人間は(たとえ認知症でも)最後まで生きがいは自己実現であり、地域でその人の居場所があることが必要』と訴える言葉にとっても共感した。そして、ニーズの把握や小地域福祉活動などに住民と行政が一緒になって真剣に取り組む姿勢を強く感じた。また、阪神淡路大震災時の避難所における事例から学んだこととして、災害における取組みには、男女双方の視点が必要で、補い合い、助け合っていくことの意味を実感した。この分科会を通じて、色々な会議で学習を重ね、行動していくことが、地域で福祉を進める基本の一つと確信。これからも活動を通して学習を続けていきたい。



\*クイズの答え\* 主治医は子どものお母さん。



# 「どうしますか?中高年からの二人暮らし」



講師:佐藤達夫氏(食生活ジャーナリスト)

## 夫婦が共に自立して生きるためのセミナーを開催!

「どうしますか?中高年からの二人暮らし」をテーマに、今年の11月26日(日)藤久保公民館を会場に食生活ジャーナリストの佐藤達夫さんのお話を聞きました。

中高年の男女約100名の参加があり、食生活の重要性や認知症を予防する6か条など夫婦が健康で「自立して」生きるための秘訣をわかりやすくお話くださいました。当日は、ご夫婦で参加された方が多く、定年後の長い二人暮らしをより良いものにするために、互いに関心を寄せる姿が印象的でした。



**夫婦で健康づくり! もう始めています!**  
 夫婦がともに元気で快適な人生を送るためには、食生活だけではなく、生きがいや健康づくりも大切な要素です。定年後の夫婦だけの時間をどう過ごすか、思案中の人もいるのではないのでしょうか。そんな方に、おすすめなのが昨年10月にオープンした「三芳町総合体育館」です。この中にある『フィットネス』は誰でも気軽に体を動かし、健康づくりができる設備がそろっています。興味のある方は是非、一度、ご覧になってみてください。  
 この施設をすでにご夫婦で楽しく利用されているカップルの写真を掲載しました。こんなふうにご利用できたら理想的ですね。



..... ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。 .....

## もう利用されましたか?

三芳町  
総合体育館

快適な環境で健康増進を図ることができ、体力の維持やダイエットなどのさまざまなメニューがあります。最新のトレーニングマシンが配置され、専門のインストラクターが常駐していますので、女性や高齢の方でも、その方にあったプログラムで、低負荷のマシンを使って、楽しく健康づくりをすることができます。利用できるのは、15歳以上の方で(中学生を除く)、初回には必ず講習を受ける必要があります。利用料金は1回あたり300円(2時間まで)です。

\*詳しくは、体育館(Tel.049-258-0311)にお問い合わせください。